

## 平成25年度 訪問入浴サービス部門 事業報告

### 重点目標

- ①利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理・生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
- ②利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
- ③利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
- ④訪問入浴車2台を以下のように用い、月間延べ訪問件数180件を目安とし、1日平均、5人／台程度の利用となるよう努める。  
入浴車1台目：月～金 週5日稼働  
2台目：火～金 週4日稼働
- ⑤ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
- ⑥社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。

### 総括

昨年度(平成24年度)半ばより人材の確保ができたことで2台目の稼働の縮小を止め、拡大に向けて動き出した。しかし2台目の稼働の縮小により新規の受け入れを1年1ヶ月出来ずにいたことで、外部には“ふじの郷の訪問入浴はいつも忙しく利用者の受け入れが難しい”という印象が強く残っており、平成25年度に入っても新規の依頼が思うように伸びなかった。マイナスな印象を打開すべく、他の事業所へ空き状況の情報等を積極的に流し営業を行った結果、徐々に浸透し新規依頼も回復していった。ターミナル期の方の利用はやはり需要が多く、ふじの郷訪問入浴の核になっている。また外部の施設内での依頼も多くなり利用者、家族だけでなく、施設のスタッフにも十分な配慮が必要になるなど、技術だけでなくスタッフの資質も重要視されることが高くなった。ただ、施設での依頼に丁寧に応えることでその後の新規の依頼に繋げることができ、同じ施設で数名の方に利用して頂けるなど新たな利用者の確保の道を開くことができた。

人材育成には、1日のなかでチーム毎に反省会を設け、状況によっては主任および他の常勤も加わり話し合う時間をつくったり、またスタッフの動き等を見直すための研修を実施したりするなど、訪問入浴全体のスキルアップ、サービスの質の向上に繋がるよう努めた。とはいえ、チームを引っ張っていくスタッフを育てるまでにはまだまだ時間が必要であり、多くの課題がみえる。同時に人材の確保が進んだものの看護師のマンパワーはいまだ足りず、2台目を担える看護師の確保が最大の課題であり、新規の依頼や利用者のニーズに対して迅速に応えることができない1年であった。

## 重点目標別報告

- ①利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理・生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
- ・定期的な訪問により利用者の表情や会話等で心身の変化をみることができた。また入浴して頂くことで皮膚状態を細かく観察することができ、本人、家族及びサービスを提供する関係者に状態の変化を報告できた。
- ②利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
- ・お風呂の時間帯、お風呂の湯加減の好み、準備等の物音、スタッフの声の音調など配慮すべきことは様々であり、お風呂のサービスに満足していただくことはもちろんだが、家のなかに入り込まれるストレスを考慮しサービスの提供に努めた。
  - ・利用者、家族の要望に応え信頼関係を築いていくことで、希望や要望をより細やかに話していただける環境作りに努めた。
- ③利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
- ・定期的に入浴することで身体の清潔を保持し、利用者が快適に過ごして頂けた。
  - ・利用者が入浴している姿を目の前で見て頂くことで、訪問している間、家族が安心して過ごしていただける時間を提供できた。
  - ・スタッフとの会話、季節毎のイベント、毎月お渡しするカレンダーなど楽しみになることを増やすことで気分転換を図れた。
- ④訪問入浴車2台を以下のように使い、月間延べ訪問件数180件を目安とし、1日平均、5人／台程度の利用となるよう努める。

入浴車1台目：月～金 週5日稼動

2台目：火～金 週4日稼動

### 別紙参照

- ⑤ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
- ・介護予防の依頼はなし。
  - ・身体障害者の依頼は1件。
  - ・ターミナルの依頼は48件。
- ⑥社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。
- ・実習3日間。訪問入浴がどんなサービスなのか、デイと訪問入浴それぞれのサービスの違いと必要性、また在宅での介護の現状を知ってもらうことを目的で見学を行った。

訪問入浴部門主任：高山智之